

令和3年度

# 事業報告

旭川市工業技術センター

# 目 次

<b>1 旭川市工業技術センター概要</b>	<b>1</b>
（1）所在地	1
（2）沿革	1
（3）施設の概要	1
（4）建設事業費	1
（5）主要機器	1
（6）事業内容	2
（7）組織	3
（8）事業実績	3
（9）施設維持修繕等	4
<b>2 技術基盤</b>	<b>6</b>
（1）工業技術センター設備整備費	6
<b>3 試験，検査及び測定</b>	<b>7</b>
（1）試験，検査等の手数料及び件数	7
（2）交付手数料及び件数	7
<b>4 機器開放及び貸室</b>	<b>8</b>
（1）機器の使用料及び件数	8
（2）部屋の使用料及び件数	1 0
（3）備付物品の使用料及び件数	1 0
<b>5 技術指導及び相談</b>	<b>1 1</b>
（1）技術相談・技術指導内容及び件数	1 1
<b>6 講習会，研修会等の開催</b>	<b>1 2</b>
（1）講習会等実施状況一覧	1 2
（2）講習会等実施内容一覧	1 2
<b>7 情報収集及び提供</b>	<b>1 4</b>
（1）技術関連図書・資料の開放	1 4
（2）令和2年度事業報告書の作成	1 4
（3）ホームページによる情報提供	1 4
<b>8 その他の主な事業</b>	<b>1 4</b>
（1）会議等への参加	1 4
（2）職員の研修	1 4
（3）審査員の派遣	1 5
（4）運営委員会の開催	1 5
（5）技術シーズネットワーク会議の開催	1 5
（6）コロナワクチン接種会場の提供	1 5

# 1 旭川市工業技術センター概要

(1) 所在地 旭川市工業団地3条2丁目1番18号  
( TEL 0166-36-3111 , FAX 0166-36-4461 )

(2) 沿革 昭和63年 7月 7日 建設工事着工  
平成 元年 2月16日 建設工事しゅん功  
平成 元年 4月14日 開 所

機械金属及び関連工業の技術の向上を図るために、技術指導、研究開発、情報の提供を行い、産業の振興発展に寄与することを目的に設置した。

## (3) 施設の概要

敷地面積		建築面積		延床面積		構 造
14,975.00 m <sup>2</sup>		1681.76 m <sup>2</sup>		2,670.78 m <sup>2</sup>		鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 2階建
室 名	面 積 (m <sup>2</sup> )	収容人員 (人)	室 名	面 積 (m <sup>2</sup> )	収容人員 (人)	
会 議 室	93.79	36	精 密 測 定 室	70.31	—	
視 聴 覚 室	229.71	150	特 殊 加 工 室	57.62	—	
実 習 試 験 室	175.00	30	メカトロニクス実験室	61.13	—	
設 計 室	76.56	—	材 料 試 験 室	37.50	—	

駐車場収容台数 50台

※室名は主な部屋のみ掲載

(4) 建設事業費 833,849 千円  
事業費内訳 建設工事費 553,990 千円  
用地取得費 136,137 千円  
機器購入費 143,722 千円

財源内訳 道補助金 60,000 千円  
日本自転車振興会補助金 104,600 千円  
市 債 467,400 千円  
一般財源 142,329 千円  
その他 59,520 千円

## (5) 主要機器

①材料試験機器 万能材料試験機, ショア硬さ試験機, ブリネル硬さ試験機,  
ロックウェル硬さ試験機, 微小硬さ計, 塩水噴霧試験機,  
走査電子顕微鏡, コンクリート圧縮試験機, 蛍光X線分析装置

②非破壊検査機器 超音波探傷機, 磁気探傷機, X線探傷機

③測定・計測機器 静ひずみ測定器, 動ひずみ測定器, デジタル表面温度計,  
デジタル放射温度計, 電磁膜厚計, 高周波膜厚計, 超音波厚さ計,  
電子風速計, ペーハーメーター, 粗さ測定器

ハイトマチック、デジタルマイクロスコープ、  
ミックスドシグナルオシロスコープ、3Dスキャナ

④CAD・CAM 3DCADシステム(Solid Works 2016, Rhinoceros6), 3DCADCAM  
システム (Mastercam)

⑤加工機器 レーザ加工機, 旋盤, フライス盤, 平面研削盤, バンドソー,  
シャリングマシン, コーナシャワー, プレスブレーキ, アーク溶接機,  
半自動アーク溶接機, TIG溶接機, ワイヤカット放電加工機,  
マシニングセンタ, 3Dプリンタ



**(6) 事業内容**

**①試験・検査及び測定**

工業材料の強度試験 (引張・圧縮・曲げ・破壊等), 非破壊検査, 金属の組織試験, 工業計測  
等依頼試験の実施

**②技術指導及び新技術の導入促進**

技術相談, 技術指導の実施  
先端加工技術の普及と指導 (難削材加工, 精密切断及び熱処理加工等)

**③講習会・研修会等の開催**

工業技術に関する講習会等の開催による人材育成の実施  
令和4年度実施予定講習会等  
ア 随時開催

初級CAD入門講座	初級NCプログラミング講座	CADで学ぶ機械製図の基礎
基礎から学ぶレーザー加工機	プレスブレーキとレーザー加工機を 連携させた曲げ加工の基礎	技能入門講座 (フライス盤・旋盤)
基礎から学ぶ3DCAD講座		

**イ 他機関との共催**

ものづくり体験セミナー, インターンシップ, 制御システム設計講習会,  
3DCAD講習会, 旭川デザインウィーク2022体験会

④技術開発及び共同研究

先端機器による生産加工技術の研究開発  
異業種交流の促進，企業との共同研究

⑤技術情報の収集及び提供

工業技術に関する専門図書（雑誌，書籍等）の閲覧

⑥機械金属工業関係団体の指導育成

機械金属及び関係工業の各団体の代表で構成され，機械金属業界の振興を図り，産業の発展に寄与するため設置された旭川機械金属工業振興会の事務局  
また，機械金属及び関連企業に対する，企業情報・補助金情報等の提供及び助言等

(7) 組織

経済部 — 経済部長 — 産業振興課長 — 工業技術センター  
(1名) (1名) (7名)

┌ 事務職員 4名  
└ 技術職員 3名  
(内 会計年度任用職員 3名)

(8) 事業実績 (直近5か年分)

(単位：件，時間，人)

実施事業	年 度	H29	H30	R1	R2	R3	
・試験，検査及び測定	試験等依頼件数	1,250	1,297	1,648	1,024	842	
	成績書謄本交付件数	8	8	4	10	5	
	(小計)	1,258	1,305	1,652	1,034	847	
・機器開放及び貸室	部屋及び物品使用件数	171	180	237	212	266	
	機器使用	件数	499	534	523	582	517
		時間	1,433	1,380	1,484	1,563	1,533
	(小計)	670	714	760	794	783	
・技術指導及び相談	面接相談指導件数	96	94	61	41	39	
	企業訪問指導等件数	11	21	17	13	0	
	(小計)	107	115	78	54	39	
・講習会，研修会等の開催	講習会等開催件数	58	61	63	29	26	
	受講者数	382	291	265	171	132	

(9) 施設維持修繕等（直近5か年分）

年度	施設修繕	金額	修繕内容
平成 29 年度	多目的トイレ修繕	232 千円	多目的トイレの部品を交換した。
	警報用予備電池取替修繕	33 千円	警報用予備電池の取替えを行った。
	物置ガラス修繕	8 千円	割れたガラスの修繕を行った。
	事務所警報盤修繕	27 千円	警報盤の修繕を行った。
	破風修繕	120 千円	破風の修繕を行った。
	実習試験室照明修繕	291 千円	実習試験室の照明を水銀灯からLEDに取替えた。
平成 30 年度	電気時計設備修繕	45 千円	電気時計設備の修繕を行った。
	機械工作室照明修繕	243 千円	機械工作室の照明を水銀灯からLEDに取替えた。
	破風修繕	105 千円	破風の修繕を行った。
	フライス盤修繕	54 千円	フライス盤の修繕を行った。
	シャリングマシン修繕	43 千円	シャリングマシンのブレード反転を行った。
	デジタルノギス修繕	24 千円	デジタルノギスの修繕を行った。
	天井クレーン修繕	27 千円	天井クレーンの修繕を行った。
	万能材料試験機修繕	1,891 千円	万能材料試験機の制御装置の部品交換を行った。
	マシニングセンタ修繕	719 千円	マシニングセンタの修繕を行った。
令和 元年度	直管LED取替修繕	18 千円	直管LEDの取付修繕を行った。
令和 2 年度	蛍光灯安定期交換修繕	20 千円	蛍光灯安定器の交換修繕を行った。
	非常用照明灯交換修繕	132 千円	非常用照明器具の交換修繕を行った。
	換気設備改修	1,210 千円	新型コロナウイルス感染症対策として換気口の新設を行った。
	蛍光X線分析装置修繕	523 千円	蛍光X線分析装置の修繕を行った。
	集塵機及び排気ダクト等機能強化	9,999 千円	新型コロナウイルス感染症対策として溶接ブースの改修を行った。

令和3年度	高圧受変電設備改修工事	12,210 千円	受変電設備の改修を行った。
	蛍光X線分析装置修繕	1,618 千円	蛍光X線分析装置の修繕を行った。
	エアコンプレッサーオイル系統 部品交換修繕	94 千円	エアコンプレッサーの修繕を行った。
	エアハンドリングユニット修繕	106 千円	エアハンドリングユニットの修繕を行った。
	暖房補給水減圧弁・圧力計 交換設置修繕	110 千円	減圧弁・圧力計の修繕を行った。
	排水管修繕	64 千円	トイレの排水管修繕を行った。
	煙突改修工事	—	空調機械室煙突内アスベスト除去工事を行った。

## 2 技術基盤

公設試験研究機関は、地域企業の研究開発の支援機関として大きな役割を担っており、本市には木工芸及び窯業の生産技術の向上並びに品質改善等の研究指導を行う旭川市工芸センター、機械金属及び関連工業の技術指導、研究開発、情報提供を行う旭川市工業技術センターがある。

これらの施設の技術指導用機器の拡充などを通して試験研究の推進、技術指導の強化を図り、地域企業、工業の振興発展に努めている。

### (1) 工業技術センター設備整備費

目的 機器等の整備を進め、工業技術センターの機能を充実し、機械金属工業等の製品の  
高付加価値化、生産の合理化を図る。

始 期 平成元年度

機器導入実績

年 度	金 額	機 器
平成20年度	881千円	ファンクションジェネレーター シーケンスプログラミングソフト 汎用コンパクト電源 デジタル・マルチメーター他制御機器2台 テスター10台
平成21年度	563千円	蛍光X線分析装置（リース契約） シーケンサ実習機 汎用コンパクト電源
平成22年度	10,558千円	シーケンサ実習機5台 デジタルマイクロスコープ ミックスドシグナルオシロスコープ
平成26年度	92千円	3DCAD (Solid Works 2015) (リース契約)
平成27年度	50千円	3DCAD (Cubify Design Software)
平成28年度	547千円	3DCADCAM (Master Cam) (リース契約)
平成29年度	39,582千円	レーザー加工機更新 (公益財団法人JKA補助対象機器) 3Dプリンタ
平成30年度	11,096千円	3Dプリンタサポート材除去装置 非接触式三次元測定器(3Dスキャナ)
令和元年度	27,280千円	プレスブレーキ更新 (公益財団法人JKA補助対象機器)
令和2年度	8,087千円	バンドソー更新 デジタルマイクロスコープ 250倍～2500倍対応レンズ一式追加 エアコンプレッサー更新 (株)長谷川工作所様 寄付金の活用)
令和3年度	1,055千円	TIG溶接機 (株)サークル商事様より寄付)



### 3 試験, 検査及び測定

#### (1) 試験, 検査等の手数料及び件数

			合 計	
項 目		1 件当(円)	件 数	金 額(円)
材 料 試 験	引 張 試 験	2,040	599	1,221,960
	曲 げ 試 験	2,330	20	46,600
	せん断試験	2,040		
	圧 縮 試 験	2,380	159	378,420
	破 壊 試 験	2,900	9	26,100
	偏 平 試 験	2,900		
	荷 重 試 験	2,900		
	マクロ組織試験	3,410	55	187,550
	電子顕微鏡試験	6,020		
計測・ 測定試験	寸法精度測定 0.1 mm以上	1,090		
	寸法精度測定 0.01 mm以上	1,670		
	粗 さ 測 定	2,250		
	膜 厚 試 験	760		
合 計			842	1,860,630

#### (2) 交付手数料及び件数

			合 計	
項 目		1 通当(円)	件 数	金 額(円)
成 績 書 謄 本		460	5	2,300

## 4 機器開放及び貸室

### (1) 機器の使用料及び件数

機 器 名		1 H当(円)	合 計		
			件 数	時間(H)	金 額(円)
材 料 試 験 機 器	万能材料試験機	1,880	6	6	11,280
	ショア硬さ試験機	630	1	1	630
	ロックウェル硬さ試験機	630			
	ブリネル硬さ試験機	630	1	2	1,260
	微小硬さ計	700			
	塩水噴霧試験機	780			
	走査電子顕微鏡	1,700			
	コンクリート圧縮試験機	1,260	5	9	11,340
	蛍光X線分析装置	2,850	69	155	441,750
非破壊 検査 機器	超音波探傷機	830			
	磁気探傷機	610			
	X線探傷機	610	4	32	19,520
測 定 機 器	静ひずみ測定器	830			
	動ひずみ測定器	830			
	デジタル表面温度計	580			
	デジタル放射温度計	600			
	電磁膜厚計	610			
	高周波膜厚計	600			
	超音波厚さ計	630			
	電子風速計	600			
	ペーハーメーター	580			
	粗さ測定器	830			
	ハイトマチック	630	2	4	2,520
	デジタルマイクロスコープ	1,420	1	2	2,840
	ミックスドシグナルオシロスコープ	840			
	3Dスキャナ	1,380	8	13	17,940

加 工 機 器	レーザ加工機	4,590	259	641	2,942,190
	旋盤	1,260	9	19	23,940
	フライス盤	1,300	7	32	41,600
	平面研削盤	1,260	2	4	5,040
	バンドソー	1,050	令和4年度より貸出開始		
	シャリングマシン	1,260	10	18	22,680
	コーナーシャー	1,110			
	プレスブレーキ	1,190	46	67	79,730
	アーク溶接機	820	29	167	136,940
	半自動アーク溶接機	780	45	252	196,560
	TIG溶接機	890	令和4年度より貸出開始		
	ワイヤカット放電加工機	1,680	13	109	183,120
	マシニングセンタ	1,690			
	3Dプリンタ	1,490			
合 計			517	1,533	4,140,880

(2) 部屋の使用料及び件数

種 別	時間区分	使用料 (円)	暖房料 (円)	合 計	
				件 数	金 額(円)
会 議 室	午 前( 9 時～12 時)	1, 170	230	27(14)	34, 810
	午 後(13 時～17 時)	1, 570	310	22(12)	38, 260
	夜 間(18 時～21 時)	1, 170	230	2	2, 340
	全 日( 9 時～21 時)	3, 910	780		
視 聴 覚 室	午 前( 9 時～12 時)	2, 880	570	70(24)	215, 280
	午 後(13 時～17 時)	3, 850	770	69(24)	284, 130
	夜 間(18 時～21 時)	2, 880	570	9( 5)	28, 770
	全 日( 9 時～21 時)	9, 610	1, 920	5( 3)	53, 810
実習試験室	午 前( 9 時～12 時)	2, 200	440	27(10)	63, 800
	午 後(13 時～17 時)	2, 930	580	26(13)	83, 720
	夜 間(18 時～21 時)	2, 200	440		
	全 日( 9 時～21 時)	7, 330	1, 460		
合 計				257	804, 920

※暖房料は11月1日～4月30日まで加算される。  
 件数のうち ( ) 内の数は暖房加算件数。

(3) 備付物品の使用料及び件数

品 名	単 位	使用料(円)	合 計	
			件 数	金 額(円)
ビデオプロジェクター	1 回 (式)	540	9	4, 860
コピー使用料	1 枚	10		
合 計			9	4, 860

## 5 技術指導及び相談

### (1) 技術相談・技術指導内容及び件数

技術相談・技術指導内容	件数	小計
1 材料（成分分析，組織），試験検査に関すること <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンクリート圧縮試験について 2</li> <li>・引張試験について 3</li> <li>・積雪を想定したステンレス製機械フレームの載荷試験について 1</li> <li>・せん断試験について 1</li> <li>・製品の溶接部の強度試験について 1</li> <li>・蛍光X線分析装置による成分分析について 2</li> <li>・曲げ試験について 1</li> </ul>		<b>11</b>
2 各種加工・検査機器等に関すること <ul style="list-style-type: none"> <li>・レーザ加工機及びプレスブレーキによる加工・製作について 1</li> <li>・プレスブレーキによる曲げ加工・製品製作について 3</li> <li>・レーザ加工機とプレスブレーキの利用方法について 1</li> <li>・ワイヤカット放電加工機による製品加工について 2</li> <li>・アクリル板及び木材の加工について 1</li> <li>・デジタルマイクロスコープによる測定について 2</li> <li>・3Dスキャナによる3DCADデータの作成について 2</li> <li>・旋盤による製品加工について 1</li> <li>・ブリネル硬さ試験機による測定について 1</li> <li>・ネスティングデータからCAD図面への変換方法について 1</li> </ul>		<b>15</b>
3 その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術講習について 1</li> <li>・治具の作成について 1</li> <li>・レーザ加工時のレイアウトデータ処理について 1</li> <li>・材料試験機による破断荷重の測定について 1</li> <li>・風の影響による流体解析の計算について 1</li> <li>・カーポートの耐荷重について 1</li> <li>・銅鋳物に金属を添加した鋳物の試験方法等について 1</li> <li>・新商品の試作品作成について 1</li> <li>・製品の溶接部の破損原因について 1</li> <li>・オリジナルの製氷型の制作について 1</li> <li>・特別ボイラー溶接士の免許更新に関わる溶接片の作成について 1</li> <li>・3DCADを用いた強度解析について 1</li> <li>・鋳物の試験片について 1</li> </ul>		<b>13</b>
合 計		<b>39</b>

## 6 講習会，研修会等の開催

### (1) 講習会実施状況一覧

日時	テーマ	件数 (日)	受講者 (延べ数)	講師	備考
4/1～4/2	CADで学ぶ機械製図の基礎	2	2	センター講師	
4/19	CADで学ぶ機械製図の基礎	1	1	センター講師	
6/23	基礎から学ぶ3DCAD講座(Rhinoceros編)	1	1	センター講師	
6/24	基礎から学ぶレーザー加工機	1	4	センター講師	
6/30	プレスブレーキとレーザー加工機を連携させた曲げ加工の基礎	1	4	センター講師	
7/26	基礎から学ぶレーザー加工機	1	1	センター講師	
7/29～7/30	ものづくりインターンシップ(第1回)	2	14	外部講師	実数
8/5～8/6	ものづくりインターンシップ(第2回)	2	8	外部講師	実数
9/27	溶接技能者評価試験直前講習会	1	12	外部講師	
10/14～10/15	ものづくりインターンシップ(第3回)	2	28	外部講師	実数
11/6	ものづくり体験教室	1	9	センター講師	
11/8～11/9	基礎から学ぶレーザー加工機	2	2	センター講師	
11/16～11/19	3DCAD講座(SOLID WORKS編)	4	34	外部講師	
11/24	溶接技能者評価試験直前講習会	1	8	外部講師	
12/1～12/2	基礎から学ぶ3DCAD講座(Rhinoceros編)	2	2	センター講師	
3/7～3/8	技能入門講座(旋盤)	2	2	センター講師	
合 計		26	132		

### (2) 講習会等実施内容一覧

#### ①工業技術センター単独の講習会

テ ー マ	講 習 会 内 容
■CADで学ぶ機械製図の基礎 講師：センター講師	CADの基本的な作図コマンドの使い方や機械製図の基礎(製図規格や投影法，断面図，対称図形の表示法など)についての講座を実施。
■基礎から学ぶ3DCAD講座(Rhinoceros編) 講師：センター講師	3DCADの基本操作からRhinocerosによる製図操作の習得，製品データ作成，3D技術活用について講座を実施。
■基礎から学ぶレーザー加工機 講師：センター講師	加工プログラムの作成から実際の加工処理までのレーザー加工に関する基礎について講座を実施。
■プレスブレーキとレーザー加工機を連携させた曲げ加工の基礎 講師：センター講師	プレスブレーキとレーザー加工機を使用し，加工プログラムの作成から実際の切断・曲げ加工に関する基礎について講座を実施。
■技能入門講座(旋盤) 講師：センター講師	旋盤を操作し，初心者に必要な基礎技能の習得から，簡単な課題製作までを実施。

## ② 他機関との共催講習会等

テ ー マ	講 習 会 内 容
<p>■3DCAD講座(SOLID WORKS編)</p> <p>講師：外部講師</p>	<p>(独) 国立高等専門学校機構 旭川工業高等専門学校, 旭川機械金属工業振興会, 旭川商工会議所, 産業技術振興会と共催で実施。基礎技術の向上や新技術, 高度な技術の習得, 高付加価値型製品開発, 生産体制の強化等, 地元企業における競争力強化を目的として開講。3DCADを使用した設計技術講習及び3Dプリンタによる試作出力を通して3次元設計の重要性の理解促進に努めた。</p>
<p>■溶接技能者評価試験直前講習会</p> <p>講師：外部講師</p>	<p>旭川溶接協会と共催で実施。溶接技能者評価試験の合格率向上を目的として試験対策講習会を実施。</p>

## ③その他事業

<p>■ものづくりインターンシップ</p> <p>講師：外部講師</p>	<p>旭川機械金属工業振興会と共催で実施。高校生を対象に地元企業への就業意識醸成や地元企業への理解を深めることを目的として地元地域の機械金属関連企業へのインターンシップを実施。</p>
<p>■ものづくり体験教室</p> <p>講師：センター講師</p>	<p>ポリテクセンター旭川開催「ものづくり体験教室」への出展。小学生を対象にものづくり体験として恐竜模型の製作体験を実施した。</p>

## 7 情報収集及び提供

### (1) 技術関連図書・資料の開放

ロビーで専門図書、技術雑誌及び各種情報を提供した。

### (2) 令和2年度事業報告書の作成

令和2年度事業報告書を作成した。(令和3年6月発行)

### (3) ホームページによる情報提供

#### ◆旭川市工業技術センターホームページ

<URL> <https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/dept/50000000/50350000/>

- <内容>
- ・沿革
  - ・事業内容
  - ・新導入機器紹介
  - ・開放設備機器
  - ・会議室／視聴覚室等の貸室
  - ・依頼試験／検査
  - ・技術相談／指導／支援
  - ・各種講習会開催
  - ・企業情報データベース
  - ・交通アクセス

## 8 その他の主な事業

### (1) 会議等への参加

#### ■全国公設鉦工業試験研究機関事務連絡会議

場所：書面による

#### ■第64回東北・北海道地区公設鉦工業試験研究機関事務連絡会議

場所：書面による

#### ■北のものづくりネットワーク会議

日時：令和4年2月9日

場所：オンライン会議（ZOOM）

### (2) 職員の研修

#### ■特定化学物質・四アルキル鉛作業主任者技能講習

日時：令和3年7月7日～8日

場所：旭川勤労者福祉会館

受講者：1名



■アーク溶接等特別教育

日時：令和3年7月21日～23日

場所：PEO 建機教習センタ北海道教習所 旭川出張所

受講者：1名

(3) 審査員等の派遣

■2021年度 夢づくりものづくり支援事業助成金審査会（一般財団法人旭川産業創造プラザ）

日時：令和3年10月4日

場所：旭川リサーチセンター

(4) 運営委員会の開催

■令和3年度旭川市工業技術センター運営委員会開催

日時：令和3年8月25日

場所：オンライン会議（ZOOM）

議題：令和2年度事業報告，令和3年度事業計画，その他

(5) 技術シーズネットワーク会議の開催

■旭川ものづくり技術シーズネットワーク会議

日時：令和4年1月19日

場所：旭川市工業技術センター

内容：旭川市内のものづくり産業支援機関等が連携し，地元企業の支援を図ることを目的に支援機関間の組織的な連携体制を構築した会議。その第1回目を開催した。

(6) コロナワクチン接種会場の提供

日時：第1回 令和3年10月7，14日

第2回 令和3年10月28日，11月4日

内容：旭川工業団地協同組合に属する企業の従事者を対象としたコロナワクチン集団接種の会場を提供した。

# 旭川市工業技術センター運営委員会委員名簿

【令和4年3月31日時点】

区分	所 属	職 名	氏 名
機械 金属 属 工 業 等 関 係 者	旭川機械金属工業振興会	会 長	佐々木 通彦
	旭川鐵工組合	顧 問	媚山 正人
	旭川溶接協会	会 長	松田 誠一
	(一社)北海道機械工業会旭川支部	支 部 長	長谷川 敦彦
	旭川工業団地協同組合	副 理 事 長	田村 総司郎
	旭川板金工業協同組合	理 事 長	村椿 幸二
	旭川塗装工業協同組合	理 事 長	中島 康夫
学 識 経 験 者	旭川商工会議所	理事事務局長	川口 勤
	(独)国立高等専門学校機構 旭川工業高等専門学校	教 授	岡田 昌樹
	(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構 北海道支部北海道職業能力開発促進 センター旭川訓練センター	訓練センター長	岩本 峰幸
	(一社)北海道建築士会旭川支部	女性委員会 副委員長	中田 富知子
	北海道立旭川高等技術専門学院	学 院 長	重岡 千里

## 令和3年度旭川市工業技術センター事業報告

令和4年7月発行

発行：旭川市経済部産業振興課工業技術センター

〒078-8273

旭川市工業団地3条2丁目1-18

TEL：0166-36-3111

FAX：0166-36-4461

E-mail：[kouyoucenter@city.asahikawa.hokkaido.jp](mailto:kouyoucenter@city.asahikawa.hokkaido.jp)

URL：<https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/dept/50000000/50350000/>